

議会だより みなかみ

群馬県利根郡みなかみ町

平成28年(2016年)
10月15日発行 47号



9月定例議会

H27年度決算認定 2P~

9月補正予算 7P

活動報告 9P~

一般質問 11P~

この町あるある 16P

●写真：新治中学校「秋の大運動会」

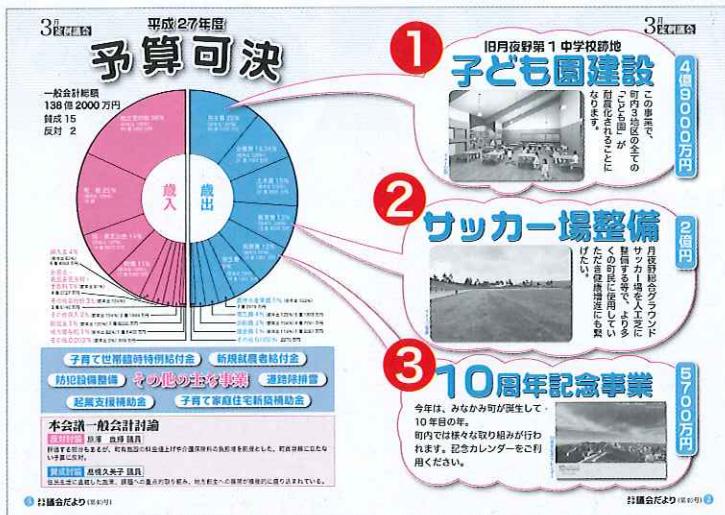


バックナンバー
が見られます。



注目事業を振り返る

議会だより 42号掲載の注目事業を振り返ります



昨年の議会だより 42号掲載記事より抜粋

町民の幅広い方々に
利用していただき、健
康増進・競技力向上に
活用していただきたい
と思います。

月夜野総合グラウ
ンドサッカー場人工芝工
事は平成27年12月に着
工し、平成28年5月末
に完成しました。

総工費約2億円の内
の27年度分決算額は標
記のとおりです。



新たに整備された月夜野総合グラウンドサッカー場

② 総合グラウンドサッカー場

決算額 7443万円

年度内に予定通り完成し、これまでそれぞれの園舎に通つ
ていた月夜野地区の園児達は、新しい園舎に通園して
います。群馬県産材を使用して建てられた園舎には、群馬県議会
からの視察がありました（関連記事9頁）。木の温もりと園児にやさしい配慮がなされています。



新園舎と園児



運動会で「みな coming 体操」をする桃野小学校の児童

10周年記念を盛り上げて
いただき、ありがとうございました。
した。

「みんなが好き」をキャッ
チフレーズに町全域での10周
年記念事業に取り組みました。
「みな Coming 体操」「年間イ
ベントカレンダー」「記念ウエ
ア」等の新規事業や既存・公募
の協賛事業などは30を越えま
した。

① 「つきよのこども園」完成

決算額 4億9500万円

③ 10周年記念事業

決算額 6166万円

「H27年度決算」完結!

前年度の決算(H27.4~H28.3間の財政の確定的な計数)を審議して認定しました。

7月~8月の間に監査委員が10日間をかけて審査し、代表監査委員の瀧谷正誼氏から報告を受けた案件です。

議会では、3常任委員会が合同で審査する「連合審査会」を開催して全員参加の委員会で詳細を審査し、本会議で全て認定しました(※連合審査の内容は4~5頁掲載)。

平成27年度決算財政内訳

**歳入 - 歳出
=8.4億円**

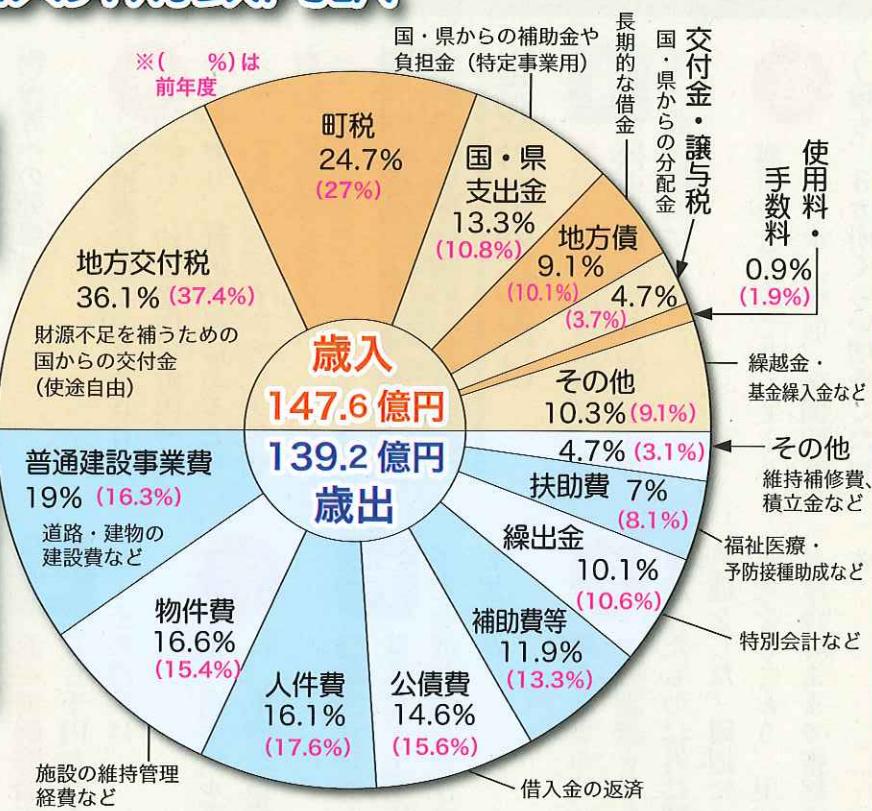
8.4億円
の
内訳

3.4億円

H27年度未完成事業をH28年度事業へ繰り越すためその財源をH28年度予算に繰り越したもの

2.5億円 基金に積み立てる

2.5億円 H28年度へ繰り越す



●財政の健全化について

執行は適正である。

各方面の努力で合併当初より大きく伸びている。今後、多額な費用負担が想定されることから、適切な基金管理でより安定した行政運営を引き続き対処すべき。

健全財政に向け鋭意努力されていると認められる。平成33年度からの地方交付税を想定し、個別の事務事業の必要性・重要性についてさらなる検討を進め、必要経費を念頭に置き経費節減に努める。契約書締結事業について職員理解を深める研修等を実施し、初步的なチェックを怠ることのないよう事務を行う。

●歳入について
歳入について
未徴収の金額を増やさない対応を今後も重要課題とすべき。
滞納事務等については、複数職員で対応し2重チェックを基本として取り組むこと。

代表監査委員 監査結果の総括意見 (一部を要訳)



代表監査委員の監査のようす

委員会

連合審査会質疑応答

※関連2頁～3頁

歳入について

ふるさと納税の効果は

質 「ふるさと納税寄付金」1億9500万円計上、歳出のふるさと納税推進費も含め、宿泊・物産等への効果は。

答

推進費は約1億3000万円で、約1億円は町内で使われており、経済効果はあると考える。7割がハピネスチケットで※1宿泊・飲食等と考える。

歳出について

施設の整備状況は

答

防犯カメラ設置工事で、今後の具体的な対応策と4カ所の設置場所は。

答 場所は3カ所でサンモール付近、水上駅前、後閑駅前。今後も、3カ所くらい増やしたい。

質

ふれあい交流館管理運営事業について現状は。

答

契約について毎年100万円ずつ下げ、29年度200万円、30年度100万円、それ以降は消費者物価指数をみて検討する。

質

赤谷湖畔整備工事費993万6千円が計上されているが、その内容は。

答

猿ヶ京ホテル下の湖畔広場に、歌碑を整備した。

質

旧衛生センター解体・撤去事業で、土壤汚染の調査は。不安を取り除く責任は行政にあると思うが。

答

撤去工事の時にダイオキシンの調査をした。環境基準を超えたものは外に搬出し適切な処理をした。周辺については舗装をしており、現状の利用であれば今まで推移できると考える。

利用された補助金は

質

防犯灯設置工事補助金について説明を。

答

各区から設置したい場所に、新規時1/2補助で上限は3万円。更新時1/2補助で上限は1万円。27年度は、12行政区に補助した。



舗装処理がされた旧衛生センター跡地

今後は防災広場という形で管理していくこととしている。



質

月夜野地区こども園整備支援事業は4億9500万円。

統合等でスリム化ができた。

一方で三峰会が1億4850万円の借入金の返済が問題になつて

いる。

スリム化の成果を確実にするための対応を考えるようなことが示されているがどのようなことか。

答

理事などからも相談を受けているところ。

私立運営が厳しいということもあり、例として沼田市等は私立の子ども園等に援助しているのが現状。

質

工場設置奨励補助金について、ヤマキは対象が終わる

と思うが。

答

固定資産税相当額を設置後5ヵ年分一括で27年度に支出している。

ヤマキについては、これが最後と考える。

国民健康保険特別会計

委員会討論及び審査結果

質

本来は**3年で見直し**であるが、それにこだわらず、広域移行前にもう一度見直す答申があつたが。

答

現時点では、平成28年度の収支の見通しが立つ。今年度の収支の見通しが立ち、県から標準保険料率が示されれば、国保運営協議会で検討していく。

質

国保会計は1億8000万円が繰越になる。基金は5億3000万円で前年と変わっていない。引き下げをしたが、もつと引き下げられる可能性があると判断できる決算ではないか。

質 小林 洋議員

●一般会計 賛成多数可決4・1
反 原澤 良輝議員
評価するところはあるが、年度末ぎりぎりに交付される予算、負担計上等、町民の目線に立っていない。

質

原澤 良輝議員

成果報告書を基に次年度に生かし、決算については適正にチャレンジしながら使って頂いている。

質

●国民健康保険特別会計 全会一致
認定すべきものとして本会議へ報告

●後期高齢者医療特別会計 全会一致
認定すべきものとして本会議へ報告

●下水道事業特別会計 全会一致
認定すべきものとして本会議へ報告

●介護保険特別会計 全会一致
認定すべきものとして本会議へ報告

●下水道事業特別会計 全会一致
認定すべきものとして本会議へ報告

●水道事業会計 全会一致
認定すべきものとして本会議へ報告

本会議審議内容及び結果

認定 平成27年度決算

決算認定6件(関連2~6頁、補正予算4件(関連7頁)、指定管理施設等の報告4件、契約締結7件(関連8頁)、条例3件(関連8頁)、その他人事案件等4件(関連8頁)を審議し、全て可決・同意しました。

一般会計

15・2賛成多数可決

反 林 誠行 議員

消費税分の町有施設利用料金値上げを含む本決算は、町民負担減の立場に立っていない。

賛 鈴木 初夫 議員

繰越金と交付金で歳入総額は前年度比7.8%増えたが、歳出総額も11.5%増えた。歳入は人口減や高齢化の他、様々な要因により的確な推計が年々難しい。今後減少が予想される歳入バランスは重要と考える。

国民健康保険特別会計

15・2賛成多数可決

反 林 誠行 議員

将来の町再生へ、財政を見据えた果敢な予算が含まれており、執行が確実にされている。

賛 小林 洋 議員

15・2賛成多数可決

賛 高橋 久美子 議員

賛 岩澤 良輝 議員

歳入総額前年度比4.7%増、歳出総額2.5%増(余剰金は6千2百万円)で、国・県との連携による介護給付費用の適正化に努めた適切な予算執行は評価に値する。

後期高齢者医療特別会計

15・2賛成多数可決

反 林 誠行 議員

高齢者を追い詰め大切にしない制度が、子どもたちや現役世代を保護できるはずはありません。

賛 高橋 久美子 議員

15・2賛成多数可決

ますます増加が予想される高齢者の医療費を、広域連合が運営主体で給付していることで町にはスケールメリット(広域的な優位性)がある。

反 林 誠行 議員

国・県どちらがい町の医療費はここ数年横ばい、H27年は料金を引き下げるが可能。H30年から県が主体责任で権限を持ち給付費を押さえ、医療費を切り縮める方策のため今、引き下げを。

介護保険特別会計

15・2賛成多数可決

賛 森 健治 議員

文化的生活に欠かせない事業であり、利根川源流に相応しい下水道整備を行い、水質の汚濁防止にも努めている。使用料収納率は、97%で収納努力がなされ、污水処理人口普及率は上昇している。施設老朽化対策等、公共用水域の水質保全に貢献している。

下水道事業特別会計

15・2賛成多数可決

反 原澤 良輝 議員

H26の未処分利益剩余金変動額で赤字を黒字に。また減価償却費を施設でなく資本的収支の補てんに流用する扱いは変わっていない。留保資金と減価償却の扱いを含め、水道会計を企業会計として運営することに無理がある。

賛 森 健治 議員

異常気象や施設老朽化によらない維持管理や老朽管敷設替えで安定供給に努め、ライフラインの確保と充実を図った。経営は厳しい状態だが負債返済や経営改善などの長期的展望に立った事業改革で会計の基本的原則に従っている。

平成28年度9月補正

補正

一般会計総額

136億139万円

補正額

2億2174万円

歳出

移住定住促進費	325万円
観光振興費	※1 1100万円
臨時福祉給付金支給事業	1218万円
小規模農業生産基盤保全整備事業	2550万円
住宅新築改修等補助金交付事業	600万円
真沢の森 木質バイオマスボイラ設置事業※3	4860万円

主な質疑

質

猿ヶ京温泉
給湯施設費負担

権利を有する受益者がいるのに何故町から支出か。

答 DMO参加は、H28年2月後半であり当初予算に間に合わなかつた。内容は、10月1日にDMOを立ち上げる観光協会に調査やイベントを委託するもの。また、町内イベント実施団体が増えており補助が増額した。

質

観光振興費 ※2

当初予算の約6割増額の意味は何か。

答 町内業者に町内物件を委託したい。これまでの問題把握を含めて執行していく。

移住定住促進費 ※1

空き家バンク登録物件新規開拓委託料とは。

質

他に一般の方がいるので緊急的な措置。今後、全体運営の方について関係者間で協議し、町がどう関与していくかも含め検討したい。

質

大峰牧場

答 管理システム導入の前に管理人を増やし目視できる体制の検討は。



大峰牧場のパドックと牛

答 管理システムと管理人のダブルチェックで進め、意見を聞いて適切な管理ができるよう努力したい。

答 エネルギーの地産地消で、CO₂を削減していくこうとする導入事業。現在の稼働率70%で年間112tのCO₂削減目標。ランニングコスト（経費）の回収が目的ではないが、日途は現在のコストの30%削減（薪の値段による）。70%稼働率を薪に換算すると年間約126t必要になる。

質 木材の年間費用は何年でこれまでの重油・灯油とペイになるか。

木質バイオマスボイラー ※3

質 耐用年数は、RDF利用の考えは。

答 国内で始まって5~6年程度なのでまだ実証されていない。

木質専用ボイラーのため、利用は薪。

※1 RDFとは
生ゴミを含む燃えるごみを主原料にした固形型の燃料材。

請願 陳情

みなさんからの請願・陳情結果

事項		提出者	所管委員会 及び審査結果	本会議審議結果
請願 第8号	地方財政の充実・強化を求める 請願書	渋川市石原 1629-1 日本労働組合連合会 群馬県連合会北部地域協議会 議長 渡辺春彦	総務文教 常任委員会 (趣旨採択)	趣旨採択

趣旨		陳情人	所管委員会 及び審査結果	本会議審議結果
陳情 第2号	道路交通に関する陳情書	みなかみ町湯原 551 株式会社シーガル・ リゾートイノベーション 代表取締役 戸澤千秋	産業観光 常任委員会 (継続審査)	――

選任 任命

- 公平委員会委員の選任

黒田克己 氏 (湯原)

根津公安 氏 (月夜野)

と共に全会一致同意となりました。
任期の間よろしくお願いいたします。

詳細質疑や委員会付託などを経て全て全会
一致で可決しました。

条例

- みなかみ町の職員を一般社団法人みなかみ町観光協会へも在職派遣できるようにするもの。
- ふるさと納税の活用事業を広げる基金を制定するもの。
- 廃棄物に関する手数料等を整理するもの。

契約

- 老朽化に伴う「消防小型動力ポンプ付き積載車」3台買い替え。

- 老朽化に伴う「厅用バス」の買い替え。
- 老朽化に伴う「みなかみ町自家用有償バス（法師線）」の買い替え。

- 「スクールバス」安心安全の為の定期的更新による買い替え。
- 「月夜野中学校パソコン機器等」の購入。
- 「湯宿終末処理場汚泥脱水機」の更新工事。
- 詳細な質疑を経て、全て全会一致で可決しました。



購入予定と同型の消防小型ポンプ付き積載車



群馬県林活議連一行の視察風景

交流人口を増やしたい。これはこの委員会の目標の一つです。町には交流者を受け入れられる多くの施設がありますが、中でも史跡などの文化財施設は、誘客をするうえでの着眼点の一つと考えています。そこで整備状況や利用形態等を確認するために今回は5つの施設を調査しました。

視察の結果、傷みのある施設やPR不足で町民にさえ知られていないような施設もありました。町行政では、施設整備と施設PRは異なった部署で行われており、そ

「群馬県林活議連」総勢34名の皆様が「つべきよのこども園」を視察されました。

こども園は、群馬県産の木材を使用した木造公共施設として林活議連の皆様に注目されての視察に同行しました。



藤原の雲越家住宅

県産木材使用

※1 県議会議員で構成されている連盟
整備見届け、PR。また
来ていただく為の交流を

活動報告

9/13 県議会視察同行
交流促進特別委員会管内視察



矢瀬遺跡屋敷跡



湯原に移築された旧戸部家住宅



全国町村議員会館で研修中の委員

エディターで広報アナリストの吉村潔先生の「全国町村議会広報クリニック」へ参加してきました。参加町議会48の内7町村の議会広報を用いて5つのチェックポイントや様々な技法を教えていただきました。早速この47号では、教えていただいた「QRコード」を作成し、これまでの「みなかみ議会だより」をスマートホンなどから見られるようにしました(表紙に掲載)。

それぞれの立場で施設を捉えていることが要因の一つと判りました。委員会では、貴重な資源を整理しながら、誘客に効果的な活用ができるような策をこれからも探っていくたいと思います。

活動報告

議会だより編集特別委員会

7/12 議会広報クリーク
一ヶ月参加 (東京都)

閉会中の
議会

7/20~21

北海道富良野市／厚生常任委員会現地視察
参加者 委員6名・議長

「生ゴミ分別」で経費削減へ！



環境に配慮された美しい
「富良野市」の風景

項目	富良野市	みなかみ町
人口(人)	22,661	20,076
ゴミ総排出量(t)	約7,200	約6,500
施設修繕費(年)	数百万円	数千万円
RDF成果品処理経費(年)	(※2) 0円	5千万円

ゴミ処理施設の経費等の比較

項目	A 富良野市	B みなかみ町	経 費
乾燥・脱臭装置	無い (灯油不要)	有る	A < B (燃料費)
RDFの大きさ	大きい (負担少)	小さい	A < B (修繕費)

RDF施設の比較



固体燃料ごみの手選別作業員。
奥には女性の姿も

「生ゴミ＝水分」の有無が重要でした。機械負担も少なくしている理由は、搬入したゴミの質の違い。

またRDF施設だけの比較をすると、富良野市の場合は、油は不要で機械への負担が少ない。このため燃料費や修繕費が抑えられています。更にRDF成果品は安全面から特定

近年、老朽化が進み施設の修繕やRDFの製造・成果品処理に経費がかかりすぎている等の現状の改善を目的に、富良野市を視察しました。そこで経費等を比較してみました。

事業者への運搬費が高い当町と違い、販売費と運搬費が相殺されていました。※2

決め手は生ゴミ

RDF製造で、乾

燥・脱臭装置はなくとも臭いを押さえ、機械負担も少なくし

別をしっかりとしました」ことでした。現在は14種類分け。

答えは「ゴミの分別をしっかりとしました」ことでした。現在は14種類分け。

わかったこと

当町が富良野市と比べ、「人口規模」や「ゴミの総排出量」はほぼ同じでありながら経費に差が生じるのはなぜか。



富良野市のRDF活用のための実験小型ボイラ

夢はRDFの自給自足

更に富良野市では、

RDFを熱源活用する試みがあり、実験中のボイラーも視察しました。この日は、特別に当町のRDFがボイラに投入され、燃焼を確認できました。

まとめ

生ゴミの分別で経費は削減できる。

熱源利用の調査が進めば、RDFの自給自足で町民へのメリットを増す可能性を感じた視察となりました。

※1 RDFとは

生ゴミを含む燃えるごみを主原料にした固形型の燃料。

当町のRDFは問題無く燃焼試験されました。



4人が質問を行いました。

主な質問事項

阿部 賢一 あべ けんいち

①基金全般について

②村史、町史編纂について

一般質問
Questions

森 健治 もり けんじ

①みなかみ町の歴史を活かした
町づくりについて……

高橋久美子 たかはし くみこ

①獣害対策について……

林 誠行 はやし のぶゆき

①国民健康保険について

②子どもの貧困について……

15

14

13

12

議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果として、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果があります。定例会のみで行われ、現在、みなかみ町議会での一般質問の時間は、一人50分までとなっています。

一般質問
とは



阿部 賢一 議員

基金には柔軟な対応を

町長

要望あればできるだけ充当していく

基金を積み立てる姿勢だけが認められた。段階的に交付税が減額される。同じ予算規模では基金を取り崩す必要がある。

れた。柔軟な対応をして町民に還元しては。

が認められた。段階的に交付税が減額される。同じ予算規模では基金を取り崩す必要がある。

子育て支援について基金でやることは反対。年度毎に予算の中で適切に必要な支援を増強する方向でやっていく。

必要な事業であると考える。学ぶ上でも貴重な資料になるので、今後検討していく。

答 教育長

行政サービスを低下させず町づくりに投資していくには基金を取り崩し、財政運営を行う必要がある。

コストメリットは非常に大きい。資材支給で、補正予算を何度も可決いただいた。要望があるものについてはできるだけ充当していく。

町長
行政サービスを低下させず町づくりに投資していくには基金を取り崩し、財政運営を行う必要がある。

有害獣対策基金が底をつく。熊の出没情報、一向に減らない獣害。町民の安心安全のため、まだ必要なものでは。

村史・町史編さん

きつかけとして20周年か25周年にタイミングが来ると思う。私のスタンスとしては、消極的ではあるが、どういう形であれば可能なのか今後検討していく。

町長

旧水上町は昭和39年、旧月夜野町は昭和61年、旧新治村は平成21年にそれぞれ刊行された。

村史・町史の編さん状況は。

も載っている。作成責任が行政にあるのでは。正確に後世に形として残す責任がある。先送りすることなく精通した方が、健全なうちに手をつけるべきと思う。

答

町長

伝統文化の伝承、地域の催し事業に合併振興基金を取り崩し補助しては。

有害獣対策基金が底をつく。熊の出没情報、一向に減らない獣害。町民の安心安全のため、まだ必要なものでは。

問

過去に県の道普請型補助金があり、地域の方々に喜ばれては。

問

子育て応援基金をふるさと納税で積立支援しては。

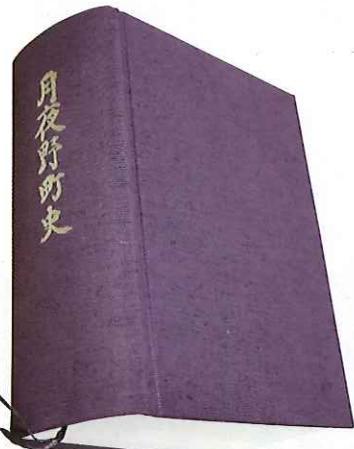
答

町長

住民が主体的に活動する町づくりの財源として活用することは大切だ。

非常に緊急な問題で、積極的に取り組む。年度毎に予算を組んで重点化していく必要がある。

新町「まちづくり計画」にも載っている。作成責任が行政にあるのでは。正確に後世に形として残す責任がある。先送りすることなく精通した方が、健全なうちに手をつけるべきと思う。



旧月夜野町で編さんされた町史

問

基金を積み立てる姿勢だけが認められた。段階的に交付税が減額される。同じ予算規模では基金を取り崩す必要がある。

柔軟な対応をして町民に還元しては。

子育て支援について基金でやることは反対。年度毎に予算の中で適切に必要な支援を増強する方向でやっていく。

必要な事業であると考える。学ぶ上でも貴重な資料になるので、今後検討していく。

答 教育長

必要な事業であると考える。学ぶ上でも貴重な資料になるので、今後検討していく。



森 健治 議員

歴史文化を活かして魅力ある観光地へ

町長

第一優先順位のものではない

問

町には国指定の遺跡など多くの歴史文化遺産があり、古くから人々が住んできた土地でもある。今後、観光客の多様なニーズに対応し、魅力ある観光地とするためには歴史文化資源の活用が不可欠であると思うが、町長の見解は。

答

町長

当町では農業、観光が非常に重要である。

豊かな自然とそれを活かしたアウトドアスポーツ、米や果物をはじめとした農産物、美しい里山景観等、質の高い魅力が幅広く存在することが大きな特徴である。したがって、第一優先順位のものではないと思う。今後具体的な文化財の保全、あるいはそれを光にどう活かしていくかは現在検討している。

問

矢瀬遺跡は、コンパクトに縄文の村を再現した非常に貴重な施設であると思うが、今後の活用については。

答

教育長

修復工事が今年度終了する。

町歴史ガイド協会と協議し、矢瀬遺跡ガイドも実施できれば多くの人が遺跡を知る機会が増えると思う。

答

教育長

出土品は現在、月夜野郷土資料館に展示しているが、日曜日限定のため、平日に見学したい等の問い合わせもあると聞くが、資料館の平日開館についての見解は。

問

最近、名胡桃城趾を訪れる観光客が茂左衛門にも来てくれている。町組には観光資源があまり無いので、観光に役立てたいと考えているが、町長の考えは。

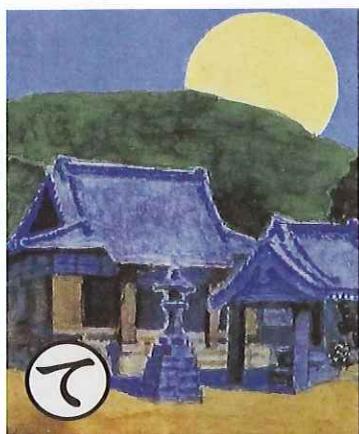
答

町長

私も初詣をはじめ、全ての行事に参加している。やはり、ここは町の中心的な地域なのだと強く思っている。またコミュニティがしっかりと運営をしていることも誇るべきものと思っている。今後、緻密に観光ルートを作り、個別のニーズに合わせ、貴重な文

化・伝統など茂左衛門を含めて入れていくことは可能だと思ってい

る。



上毛カルタに詠まれる茂左衛門

て
天下の義人
もざえもん
て
茂左衛門



高橋久美子 議員

住民としての役割を果たすためにも、町単独の補助金を!

町長 勉強させていただいて、早急に取り組むことを考えたい

問

町の獣害被害金額が毎年700万円前後で推移していることと、被害に対して具体的にどのような対策をされているか。

答

町長

同一地で3年続けて被害が出れば、耕作をやめてしまい被害はなくなるが、害獣はどこかに移動していくと思われる。そのため有害獣の被害額というものは、基本的に伸びていかないと思っている。

問

電柵は、有効な手段。県の補助金を使っての電柵だと、年間5~6件が慢性的に補助が受けられないと聞いています。そこで「すぐに使える町の支援がないのか」との声も聞かれるが。町の26年度の振り返りのなかで、獣の出没しにくい環境を整備するのに、

地域での下草刈り活動が継続される方向の検討が明記されているが、どのように認識されているか。

問

電柵は、有効な手段。県の補助金を使つての電柵だと、年間5~6件が慢性的に補助が受けられないと聞いています。そこで「すぐに使える町の支援がないのか」との声も聞かれるが。町の26年度の振り返りのなかで、獣の出没しにくい環境を整備するのに、地域での下草刈り活動が継続される方向の検討が明記されているが、どのように認識されているか。

答

町長

お話をあつたような声については、随分聞いています。刈り払いでについて補助金を出すというところまでは検討していない。

答

町長

これについては、勉強させて頂き、早急に取り組むことを考えたい。

答

町長

秋本番、熊の動きがかなり活発になつてくるが、熊に遭遇した時の注意喚起を促すチラシを回覧等で回してはどうか。

みどり市へ獣害対策の講演会に参加してきた。今までの獣害対策は自治体の職員が中心。今後のキーワードは「役割分担」



群馬県補助を使用して設置された電柵



林 誠行 議員

国保の取立てが急激に進むのでは

実情を把握して、適切な対応を考える

をお願いしたい。

問 群馬県内では国保の滞納世帯が4万5千件、うち1万5千件が差し押さえされ、全国一

の差し押さえ率だ。取立てが急激に進むのでは。町の対応と状況は。

答 **税務課長**

町では平成26年度49件、平成27年度で96件の差し押さえを実施した。

期限までに完納しない場合、督促状や、催告書を送付する。さらに電話や臨戸催告を行う。やむを得ず滞納処分の手続を開始する場合でも、納税者個々の実情を十分に把握し、執行している。

問

滋賀県の野洲市で、税金を

答

町長

子どもの貧困について

今、子どもの6人に1人、一人親世帯では2人に1人が貧困と聞く、町としての対応は。

答

町長

可能な限り接触の機会を設けて納税相談を実施している、今後も現在やっているような方向で納税者の個別具体的な実情を十分把握した上で、適切な対応を考えている。

問

教育長

答 教育長

就学援助の対象者としては、小・中学校合わせて51名の児童生徒を認定し、児童・生徒就学援助費で学校給食費、学用品費、修学旅行費等の一部を援助している。

住宅施策、あるいは就労についての促進、担当部局で総合的に対応している。

問

町長

答 利根商業高等学校に来たら、色々な学習支援があるということを、ほんの一点だがやつていきたまな構想というのは持っております。町としても努力していくたい。

支援を受けている子どもたちの学習環境や義務教育後の進学などは。

問 生活保護法に基づく生活、教育補助、あるいは入学支援金、児童扶養手当の支給、これらの子育て支援事業を行っている。

一人親世帯の町営住宅入居費の



太田市取り組みの子ども支援「子ども食堂」の記事（上毛新聞掲載）



いろいろある。何もないことない。

「この町あるある」

話題
Topics

農業冊子等の出版社勤務時代に大阪での「花の万博」で知った花農家たちの影響を受けて育苗農家になられた原澤さん。育苗業は単価が決まっており計算がしやすいこと、苗なのでスペースを確保しやすいこと、作付けの工夫次第で一年中仕事ができることなどに着目されたそうです。

母校の北海道大学で学ばれた技術を活かして出荷している苗は、統計にありませんが、日本のシクラメン苗の約10%相当と推測されます。

みなかみ町の素晴らしい「あるある」です。

シクラメン苗

全国へ450万本出荷

(株)ナーセリー ハラサワ (育苗農家)

代表取締役 原澤 辰明 さん (上津)



「苗」の出荷を終え、この間裏作の「シクラメン」の説明をされる原澤さん



全国の約10%を担うシクラメン苗

「育苗の仕事は、生産農家の基幹という大事な部分を担つていて非常に責任のある仕事。現在は育苗者としての後継者「人づくり」をしたい」「町には農業振興の意味で、若い人の新規就農システム構築を望みます。

そして町民の皆様には是非、生活の中でお花を飾つていただきたい」と話していました。

これからも全国出荷数を増やし、益々のご活躍を応援したいと思います。

「苗づくり、人づくり」

アドバイス

～編集モニター(利根商高PC部)より～

今回もアドバイスをいただきました。同じようなことを指摘されてしまうこともあります、かなり詳細な指摘事項に変化してきています。これからも頑張ります。

- ①色や表記方法で総体的な統一感や流れを感じられるものにする。
- ②文面と実際に合う写真使いをする。
- ③中見出しと小見出しの使い方は統一しバラバラ感を与えない。

※記載表現は意訳してあります。

編集後記

10月を迎え、朝晩涼しく感じられるようになってまいりました。

今回の議会だより47号において、2人の方にインタビューをさせていただきました。仕事の内容は異なりますが、共に「みなかみ町で生み出したものを全国に発信」し、また前向きに取り組まれている姿は共通されていました。今後とも益々ご活躍されることと存じます。

我々編集委員一同も様々なところにアンテナを張り、「町の宝」を皆様にご紹介できるよう努力してまいる所存です。

また、皆様からも情報をお寄せいただけたならば幸に存じます。(森)

訂正とお詫び

前回46号に記載誤りがありました。

5頁最下段 本文後ろから10行目の「質」は正しくは「賛同」となります。

訂正しお詫び申し上げます。

議会だより編集特別委員会

委員長 中島 信義
副委員長 森 健治
委員 高橋久美子／石坂 武
山田 庄一／原澤 良輝
編集アドバイザー(写真) 安部 武
編集アドバイザー(文章) 利根川 太郎
編集モニター 利根商パソコン部

読者からの声

「町長と語る会」再々開的一般質問に大賛成です。どうか季節の良い時期にお願いします。

お陰様で「こども園」の3カ所と「中学校」の4カ所で再々開されております。都合の良い会場へどうぞお出かけください。

「峻嶺館」、「旧幸知小」の記事がありました。新しくできるもの、古くて解体されるもの・・・時代は混沌と

しています。議員さんは大変だと思いますが頑張ってください。

ありがとうございます。時の流れはゆったりと遅いようでもあり、過ぎてみればあつという間の早さを感じますね。限りある時間の中で頑張ります。

――議会傍聴の手続きをどうすれば良いのか書いて欲しい。
わかりました。詳細を以下に記載いたします。

皆様から多数のご意見を頂戴しました、誠にありがとうございます。

これからも、どしどしご意見をお寄せください。お待ちしております。
※送付先は、クイズ応募と同じ係です。

傍聴の手続き

傍聴は、どなたでもできます。ただし、当日に議場入口で受付を済ませてからご入場ください。

流れ

- ①受付にて「受付表記入(住所・氏名・年齢)」
- ②受付表を係に渡して「傍聴カード」を受け取る
- ③傍聴席へ
- ④帰りに「傍聴カード」を返却箱へ入れて終了

※注意／飲食・録画・録音・写真撮影は禁止。

傍聴(席数は34席)

次回の定例会は
11月30日(水)～12月9日(金)の予定。

場所：役場本庁舎3階議場

ぜひ一度、本会議を傍聴してみませんか。

—なぜ、定住を？
コミュニティーを「組（地域の皆）」で支え合っている人間関係が素晴らしい。何百年も前からずっと子どもに引き継がれてきたことや、引っ越しして来た外国人を直ぐに受け入れてくれたことに感動しました。

3・11の震災で以前住んでいた益子近郊の市貝町の家や窯が被害に遭い、妻と4人の子どもとの暮らしで安全・安心・安定を考えたからです。現在は妻の親戚から借りた古民家（明治5年築）に住み、昔ながらの健全な暮らし（民芸の心）で作品を創ることができます。土間は陶芸にとって適切な環境でもあります。

—なぜ、定住を？

26歳から日本に住まわされているオーストラリアメルボルン生まれの外国人陶芸家の紹介。14歳の時に引っ越した町ベンディゴで陶芸と出会って以来、陶芸人生をおくられています。

—移住・定住シリーズ⑩—



町の歴史・文化を学ぶもたらし

陶芸家 ユアン・クレイグ (EUAN CRAIG) 氏 52歳 (東峰区)

0278(215) 3982

—逆にお困りのことは？

山間部の気候なので作品の天日干しに苦労します。

子どもたちの学校時間と家族時間とのバランスがとりにくい。具体的には、中学生の部活時間が多すぎます。家庭での教育は人間を育てる意味もあり、社会との関わりを教える場でもあり大切な時間。

—夢や抱負は？

陶芸作家としてこの地域で総合的にコラボレーションをしたい。作品は使用してこそ完成するもの。もつといろいろな作家を「たくみの里」に集め作家同士のコラボレーションができれば良いと思う。授業で自ら作った器で学校や家庭で食事をするなど、日本人として文化体験ができる子どもたちを育てたい。

—町や議会に提案されたいことは？

少子高齢化対策は、経済だけではないと思います。家族がいることを良いと思えば家庭を作りたくなる。

この町は人間的に親しみやすく、歴史・文化等の環境も素晴らしいので、この大切さを子ども達に伝えて欲しい。

空き家や空き店舗を若い本物の作家に提供できる良いシステム作りをお願いしたい。

—町民の皆さんへメッセージをお願いします。
古民家をお持ちの方は役場まで情報提供をよろしくお願いします。



ユアンさん（右から3人目）と
ご家族（たまたま遊びに来ていたユアンさん兄ご夫婦も）

★正解者の中から抽選で5名様に粗品を進呈いたします。ぜひご応募ください。

応募の
きまり

ハガキに住所・氏名・答えとご意見ご感想を記入して、下記宛てご応募ください。

〒379-1393 群馬県利根郡みんなかみ町後閑318

みんなかみ町議会事務局

議会だより「ふるさとクイズ・ご意見」係

締切：平成28年11月30日(当日消印有効)

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせて頂きます。

?ふるさとクイズ

問
題

H27年度一般会計決算総額の差額は？

- (A) 8.4億円 (B) 8400万円 (C) 840万円

前回の議会だより46号ふるさとクイズの正解は『B の峻嶺館』でした。